

# 福井県南条山地における放散虫化石産地ノート

## —その2— 池ノ上地区；下別所・中津原地区；瓜生野地区

梅田美由紀\*・田賀秀子\*\*

Note of occurrence of radiolarian fossils in the Nanjo Massif,  
Fukui Prefecture, Central Japan

—No.2— Ikenokami Area; Shimobessyo・Nakatsubara Area; Uryuno Area

Miyuki UMEDA\* and Hideko TAGA\*\*

### III 武生市池ノ上 (図版1)

本地区は、南条山地の最北端に位置する。試料より得られた放散虫化石は美濃帯に普通に見られるもので、ジュラ紀を示す。しかし、試料採取地点の約1km東方に位置する妙法寺付近の露頭からは、梅田(1996)により、後期二疊紀を示す放散虫が報告されており、それらは超丹波帯に特徴的な群集である。

武生市池ノ上で採取した試料のうち、属名が判別可能な化石を得られた試料番号と岩質およびその放散虫を以下に記す。また、走査型電子顕微鏡で撮影した写真は、図版1に掲載した。

○試料番号 / 岩質 / 放散虫化石 (以下同じ)

○TG96052333 / 灰色チャート / *Trillus* sp., *Parahsuum* sp.

○TG96052334 / 灰色チャート / *Parahsuum* sp., *Parvicingula*(?) sp.

### IV 武生市下別所・中津原地区 (第1図, 図版2)

本地区は、南条山地の北端部に位置する。きたない黒色頁岩を主体とし、その中にチャート・緑色岩・砂岩・石灰岩の大小様々のレンズ状岩塊が散在する、いわゆる春日野相(服部・吉村, 1982; 福井県, 1985)が分布する。レンズ状チャートからは二疊紀や三疊紀、そして基質の頁岩からは最前期ジュラ紀の放散虫化石が得られている。南条山地北端部の池ノ上や下別所・中津原地区で得られた化石データは、美濃帯と超丹波帯との境界を定める上で重要な意味をもつ。

本地区からは、下記のような試料から放散虫化石が得られている。保存状態が不良で、種名まで同定可能なものはない。なお、福井大学地学教室において、最初の放散虫化石は下別所の試料から得られた。

---

\* 福井市自然史博物館 (〒918 福井市足羽上町147)

\*\* 鯖江青年の家 (〒916 鯖江市上野田町19-1)

本地区より採取した岩石試料のうち、属名が判別可能なものを得られた試料番号とその放散虫を以下に記す。また、走査型電子顕微鏡で撮影した写真は、図版2に掲載した。

- IH81041216 / チャート化した珪質頁岩 / *Canoptum* sp.
- IH81041217 / チャート化した珪質頁岩 / ? *Paronaella* sp., ? *Canoptum* sp., *Stichocapsa*? sp.
- IH81041218 / 赤色チャート / *Pseudoalbaillella* sp., *Paronaella*? sp.
- IH81051422 / 風化した凝灰質頁岩 / *Relanus*? sp.
- IH81092006 / 珪質頁岩 / *Canoptum*(?) sp., *Parahsuum* sp., *Bagotum*(?) sp., *Stichocapsa* sp.
- IH81092008 / 珪質頁岩 / *Parahsuum* sp., *Natoba*(?) sp., *Stichocapsa* sp.
- IH82090201 / 白色頁岩 / *Parahsuum* sp.

## V 武生市瓜生野地区 (第2図, 図版3)

本地区には、これまでの野外調査(服部・吉村, 1982; 吉村ほか, 1982; 福井県, 1986など)によれば、今庄相が分布する。今庄相とは、主として砂岩、頁岩およびそれらの互層を主体とし、側方に連続性のよい三疊紀のチャートや大小様々のサイズのレンズ状チャートが無数に含まれる層相である。基質をなす頁岩からは前期ジュラ紀の放散虫化石を産する。

武生市瓜生野町の集落周辺で採取した岩石試料のうち、属名が判別可能な化石を得られた試料番号とその放散虫を以下に記す。また、走査型電子顕微鏡で撮影した写真は、図版3に掲載した。

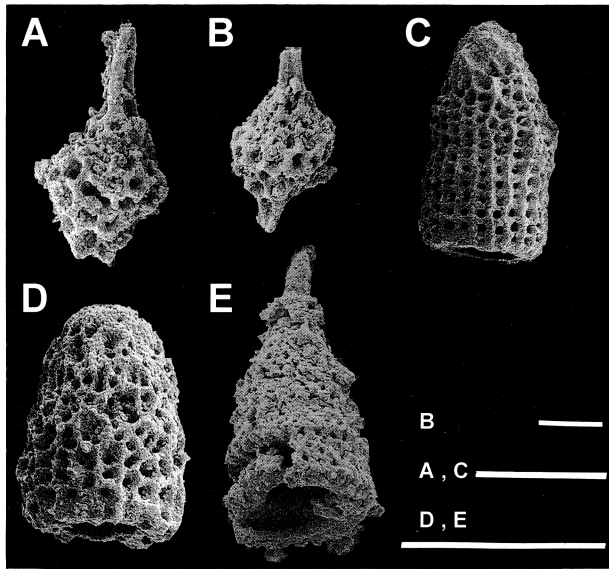
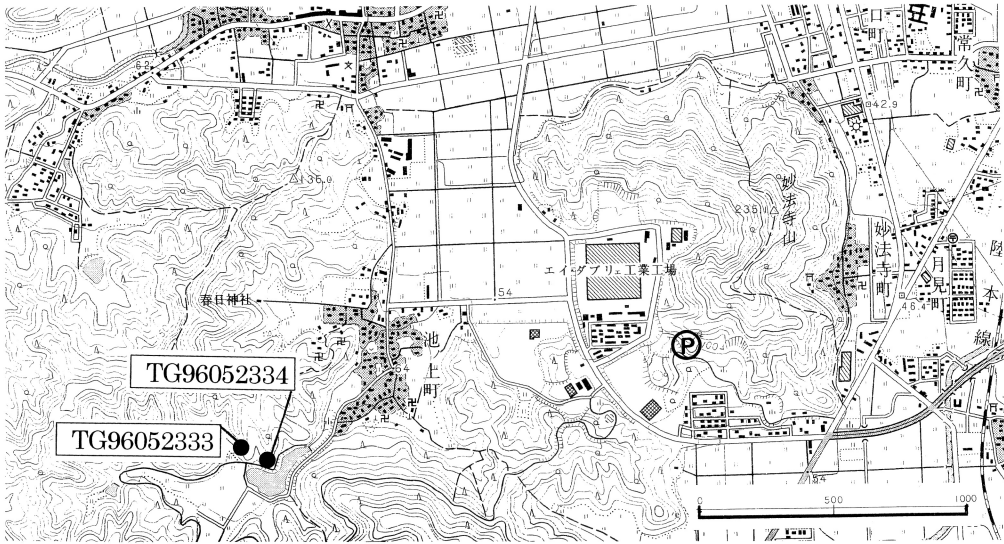
- IH81051413 / 風化した頁岩 / *Canoptum* sp.
- IH81051418 / チャート / *Trillus* sp., *Canoptum* sp., *Parahsuum* sp., *Eucyrtidiellum* sp., *Stichocapsa* sp.
- MY81080401 / 風化した頁岩 / *Canoptum* sp., *Parahsuum* sp.
- MY81080407 / チャート / *Pantanellium* sp.
- TG95052504 / チャート / *Parahsuum* sp.
- TG95052503 / チャート / *Triassocampe* sp., *Pseudostylosphaera*(?) sp.

福井大学地学教室の服部 勇先生には、常日頃より野外調査に同行していただいたり、南条山地の地質や放散虫化石についてご教示いただいている。また、同大学院生の喜多佐由里氏には図版の作成にあたり助けていただいた。記して感謝いたします。

## 引用文献

- 福井県, 1985: 土地分類基本調査「梅浦・鯖江」5万分の1表層地質図および同説明書, 53p.
- 福井県, 1986: 土地分類基本調査「竹波・今庄」5万分の1表層地質図および同説明書, 44p.
- 服部 勇・吉村美由紀, 1982: 福井県南条山地における主要岩相分布と放散虫化石. 大阪化石研誌, 特別号5号, 103-116.
- 梅田美由紀, 1996: 福井県南条山地北端に分布する超丹波帯相当層の産状. 43号, 21-34.
- 吉村美由紀・木戸 聡・服部 勇, 1982: 福井県南条山地今庄地域におけるスタイロライトチャートおよび放散虫化石. 福井大学教育紀要, II, 自然科学, 31号, 66-77.

図版 1



上：試料採取地点 / 国土地理院発行 2万5千分の1地形図「武生」を使用。

スケールは1000m, ㊥は、二疊紀後期の放散虫産出地点 (梅田, 1996)。

下：池ノ上地区より得られた放散虫化石の電子顕微鏡写真 (スケールは0.1mm)

化石名 / 産地 / 地点番号(F) / 試料番号の順で記す。

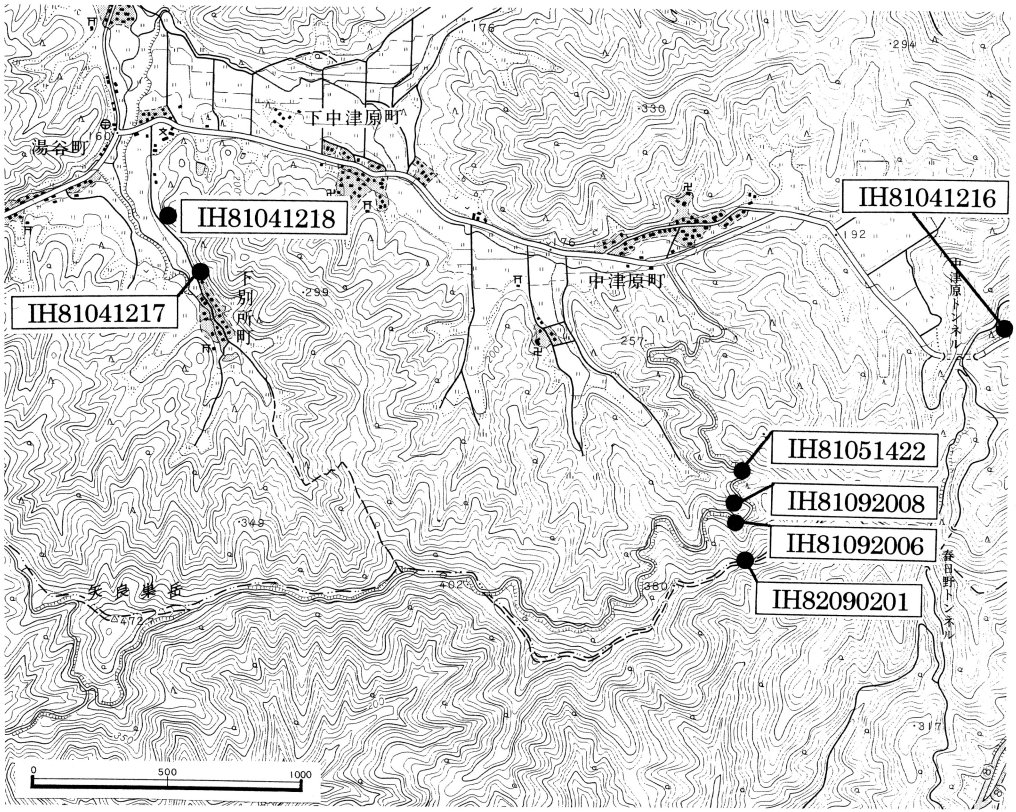
A : *Trillus* sp. / 池ノ上 / F528 / TG96052333

B : *Trillus* sp. / 池ノ上 / F528 / TG96052333

C : *Parahsuum oxale*(?) Hori and Yao / 池ノ上 / F528 / TG96052334

D : *Parahsuum* sp. / 池ノ上 / F528 / TG96052334

E : *Parvicingula*(?) sp. / 池ノ上 / F528 / TG96052334



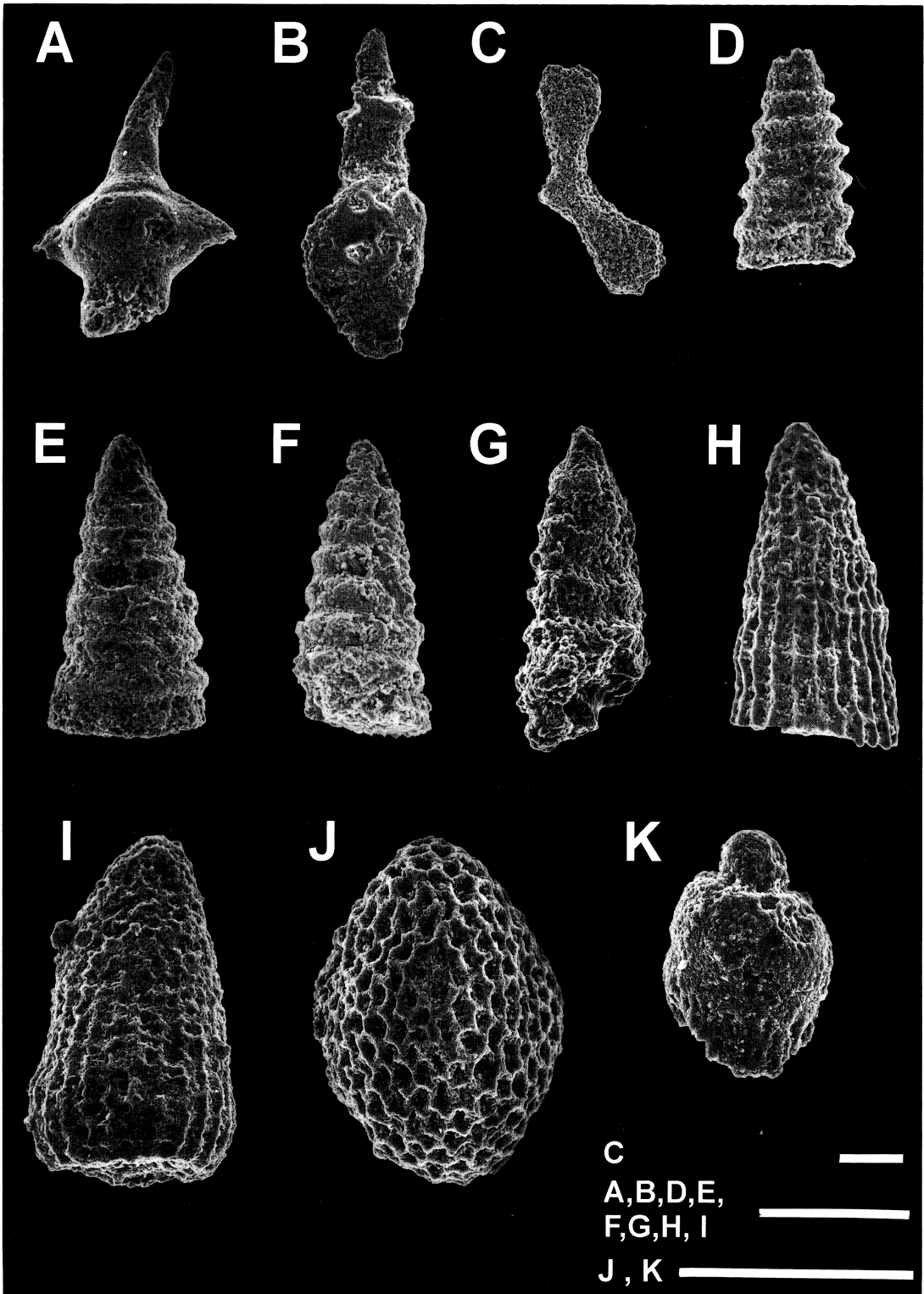
第1図 試料採取地点 / 国土地理院発行2万5千分の1地形図「糠」を使用(スケールは1000m)

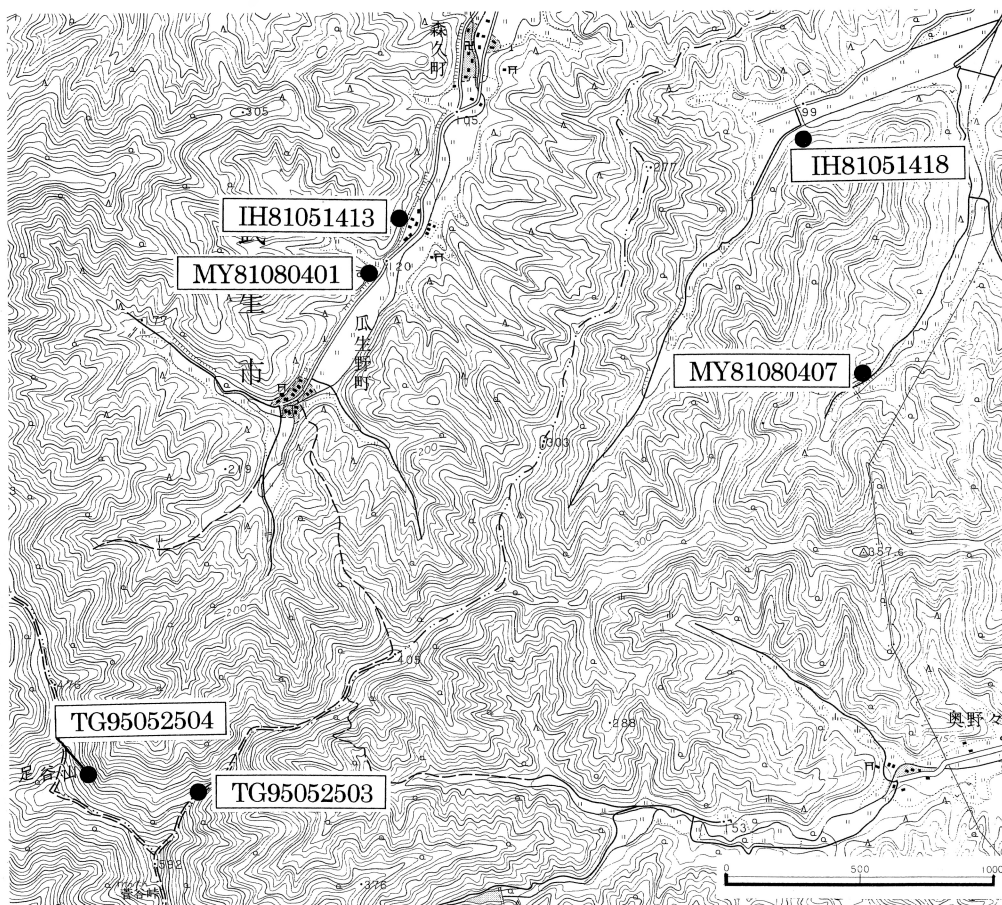
## 図版2 説明

下別所・中津原地区より得られた放散虫化石の電子顕微鏡写真(スケールは0.1mm)  
化石名 / 産地 / 地点番号(F) / 試料番号の順で記す。

- A : *Pseudoalbaillella* sp. / 下別所 / F0030 / IH81041218
- B : *Pseudoalbaillella* sp. / 下別所 / F0010 / NP81
- C : *Paronaella?* sp. / 下別所 / F0030 / IH81041218
- D : *Canoptum* sp. / 中津原トンネル / F0033 / IH81041216
- E : *Canoptum* sp. / 中津原トンネル / F0033 / IH81041216
- F : *Canoptum* sp. / 中津原トンネル / F0033 / IH81041216
- G : *Canoptum(?)* sp. / 中津原 / F0107 / IH81092006
- H : *Parahsuum* sp. / 中津原 / F0264 / IH82090201
- I : *Parahsuum* sp. / 中津原 / F0107 / IH81092006
- J : *Bagotum(?)* sp. / 中津原 / F0107 / IH81092006
- K : *Natoba(?)* sp. / 中津原 / F0108 / IH81092008

図版 2





第2図 試料採取地点 / 国土地理院発行 2万5千分の1地形図「今庄」を使用 (スケールは1000m)

### 図版3説明

瓜生野地区より得られた放散虫化石の電子顕微鏡写真 (スケールは0.1mm)  
化石名 / 産地 / 地点番号(F) / 試料番号の順で記す。

- A : *Pantanelium* sp. / 瓜生野東 / F0099 / MY81080407
- B : *Trillus* sp. / 森久東 / F0052 / IH81051418
- C : *Canoptum*(?) sp. / 森久東 / F0052 / IH81051418
- D : *Canoptum* sp. / 瓜生野 / F0100 / MY81080401
- E : *Canoptum* sp. / 瓜生野 / F0052 / IH81051413
- F : *Parahsuum simplum*(?) Yao / 森久東 / F0052 / IH81051418
- G : *Parahsuum* sp. / 瓜生野 / F0100 / MY81080401
- H : *Eucyrtidiellum* sp. / 森久東 / F0052 / IH81051418
- I : *Bagotum*(?) sp. / 瓜生野 / F0100 / MY81080401
- J : *Stichocapsa* sp. / 森久東 / F0052 / IH81051418

図版 3

